

医療連携手帳とは

この手帳は、治療を施行した専門病院とかかりつけ医療機関が協力して専門的な医療と総合的な診療をバランスよく提供する共同診療体制を構築することを目的に作成されました。

【手帳の利用方法】

①連携開始時

専門的な治療を行った病院から、患者さんに手帳が渡されます。これ以降、この手帳は患者さんが持参し、診察及び検査等で治療病院及び診療所に行く際、必ず持参し指示してください。

②診察・検査

患者さんは、手帳に記載された計画に沿ってかかりつけ医又治療病院で、診察・検査を受けます。

手帳には、患者さん、かかりつけ医、そして治療病院が、それぞれ気になることを記載する箇所がございます。（患者さんの状態をみんなで共有することができ、安心して診療を受けられます。）

③その他の時

別の病気で他の医療機関等に行く際に、手帳を持参すれば、より適切な対応につながります。

【手帳を使うことによる利点】

- ・ 患者さんが医療機関等を受診する際にこの手帳を持参することにより、専門病院の医師、かかりつけ医、その他の医療機関等が、患者さんの治療経過を共有でき、より適切な診療が可能になります。
- ・ 患者さんが手帳を持つことにより、「いつ」「どこで」「どんな」診察・検査を受ければよいか分かります。

【手帳を利用される患者の方へ】

① 手帳の利用は

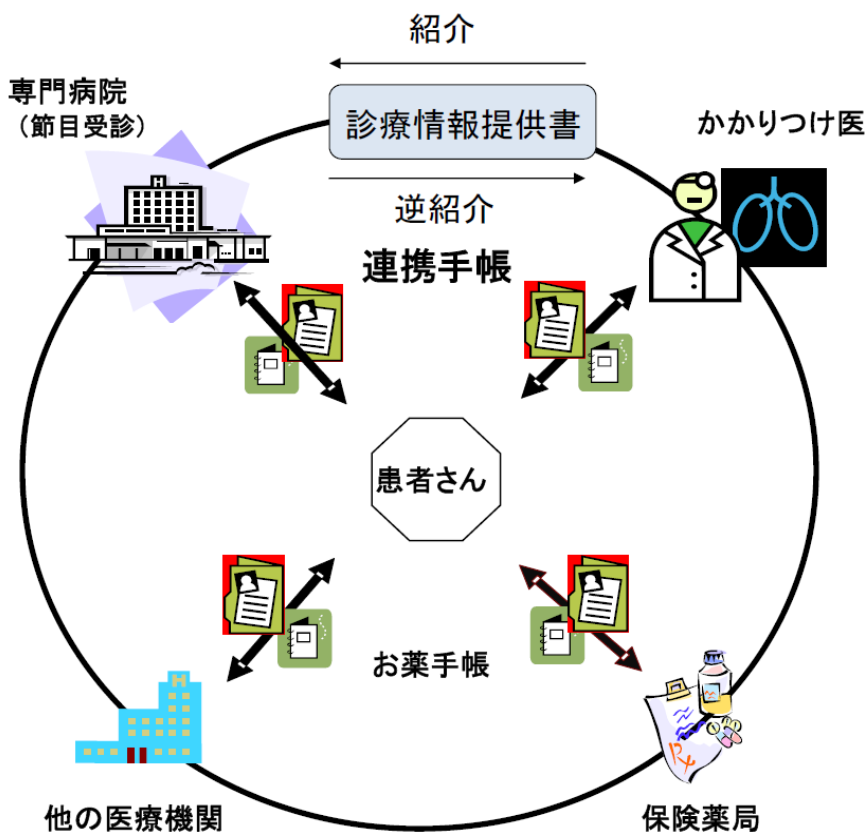
手術などの治療を行った病院の主治医は、医療連携が患者さんの診療に適しているかどうかを吟味し、患者さんやご家族に十分に説明し同意を得た上で、手帳の利用を開始します。

②手帳の利用開始後は

日常の診療や症状が落ち着いているときの投薬はかかりつけ医が行います。手術などの治療を受けた病院へは、節目に受診していただくことになります。

何か心配なことなどある場合には、かかりつけ医にご相談ください。緊急を要する場合で休日や夜間等でかかりつけ医を受診できない場合には、手術等の治療を受けた病院まで御連絡ください。（電話番号は手帳に記載してあります。）

連携手帳を用いた診療の流れ



連携手帳とお薬手帳を持っていれば安心です